

## 知的財産の創出・利用促進について

東京工業大学 フロンティア創造共同研究センター

大山永昭

### 1. 目標

- 知的財産をわが国の富とし、国の繁栄・発展を図る
- 知財に関連する新たなビジネス・雇用の創出
- 経済の回復・成長に資する

等

### 2. 知財の特性

- 2番手は勝てない 従来産業との違い
- 知財は人の努力と英知から生まれる 価値の認識、人材育成、インセンティブの付与 等
- 知財は使われて真の富となる 価値の向上、利用の促進
- 環境変化で知財の価値は変わる 環境変化の予測、ルールの変更

等

### 3. 大学における知財の創出について

- 知識共有（論文主義）に加えて権利化の支援（TLO等）促進
- 大学・教官等の業績評価における論文偏重主義の是正
- 科学研究費等の申請項目へ追加

### 4. IT社会における知財の利用促進

- IT社会は、現実空間と電子空間の融合（図 1,2 参照）
- 個人・法人等の認証が新たなビジネスとしてスタート（PKIとスマートカード）
- 情報家電等インターネット経由での電子機器の利用が可能になる
- 電子機器および利用者の正当性確認が必要になる
  - 電子機器の認証が必要になると予測（機能、所有者等）
  - コンテンツ利用の正当性確認も同じ（従来手法に加えて）
  - セキュアICチップはセキュリティ確保のキーデバイス
- コンテンツ利用促進を目的とした新技術の開発支援

**知財立国には、知財の創出・保護に加えて利用の促進が不可欠**

# 従来の社会活動

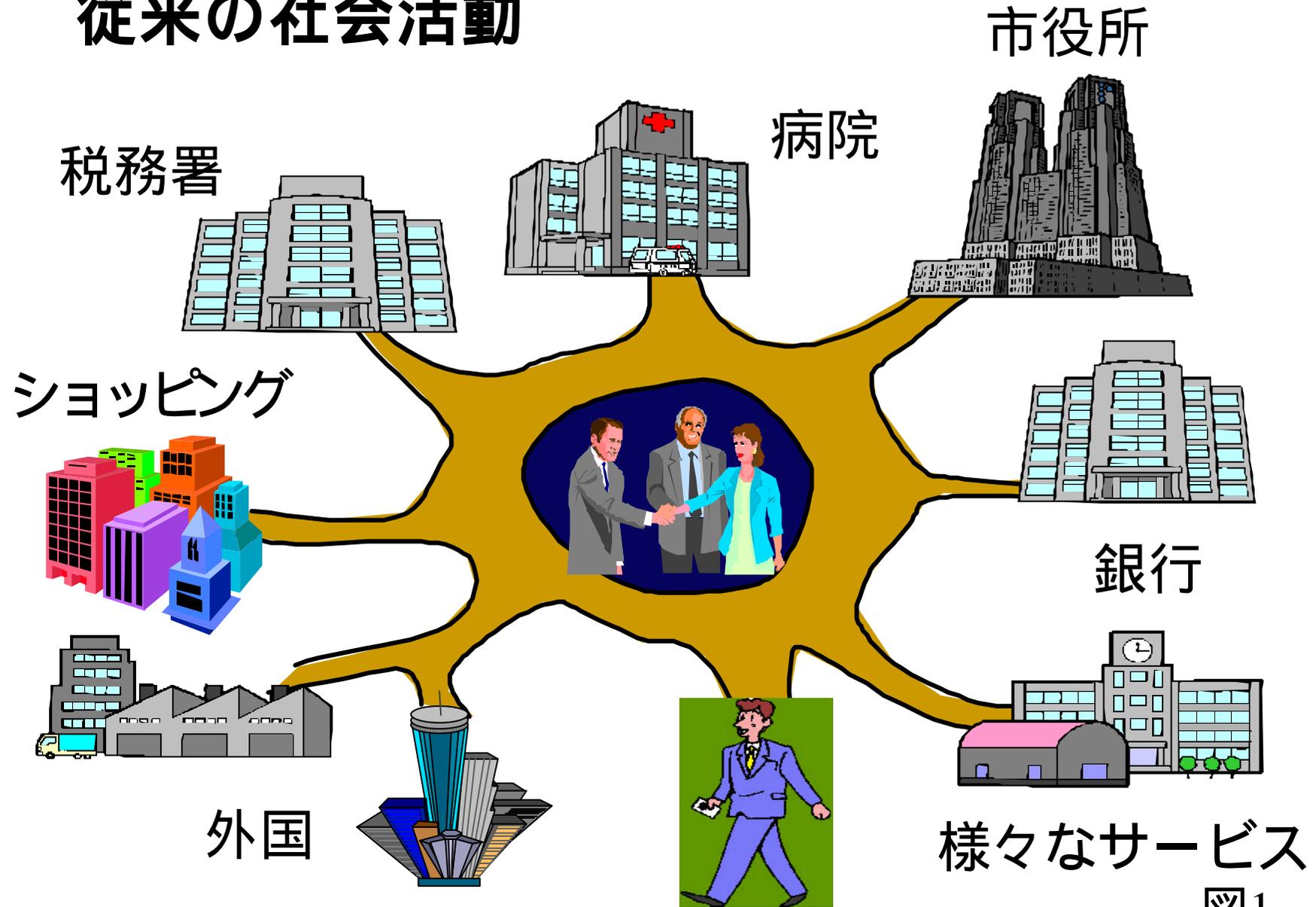
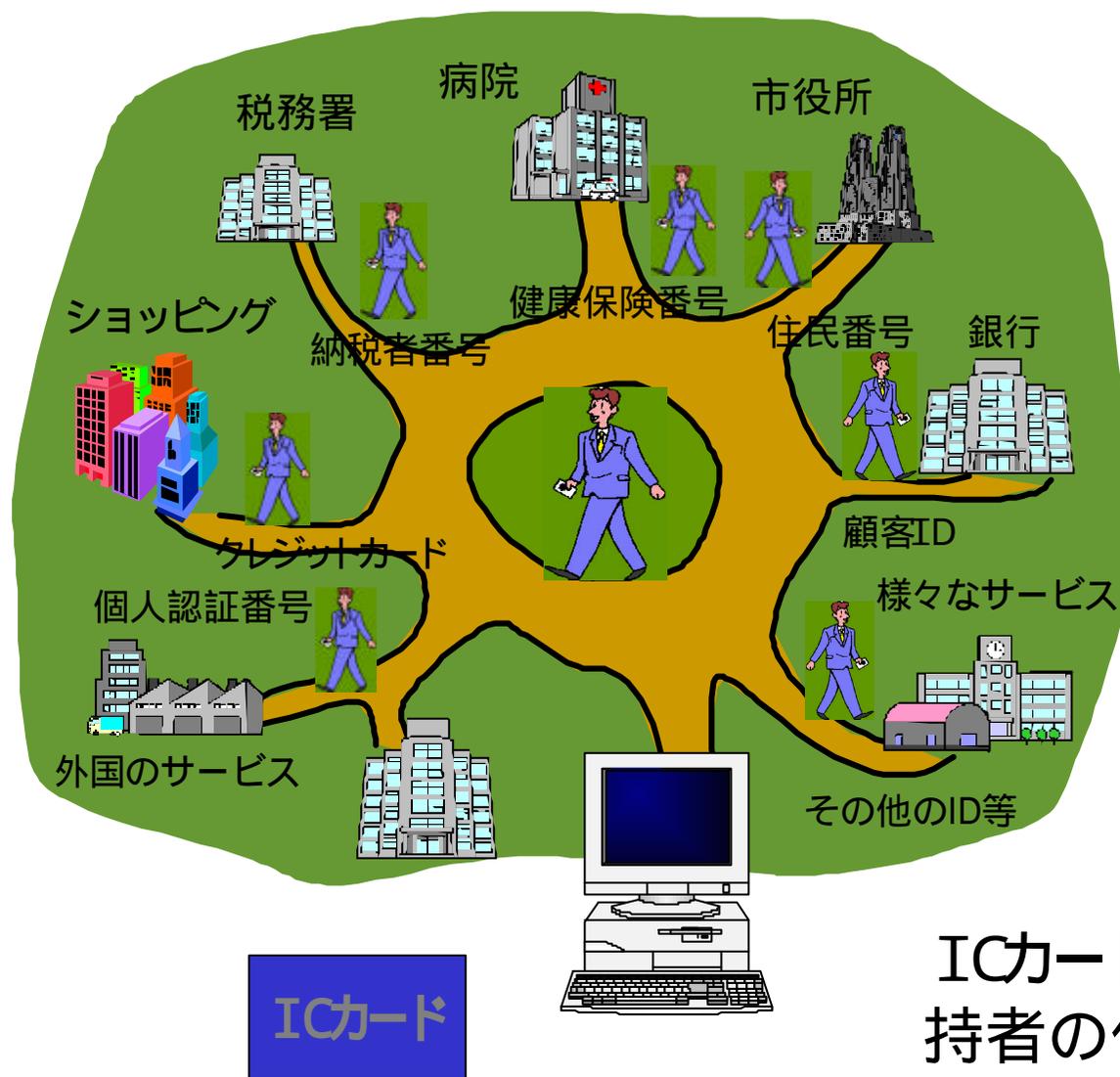


図1

# サイバースペースでの社会活動



公共分野

病院  
市役所  
税務所  
など

民間分野

銀行  
商店  
など

ICカードは、カード所  
持者の代理機能